

竹富東港は、石垣島の西約4kmの竹富島(人口362人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の北東側に位置する地方港湾であり、石垣島との間に定期高速船が多数運航しているほか、定期フェリーや地元の小型船等が利用している。

竹富島は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、南国特有の石垣や赤瓦の民家の集落が残っていることから、観光客の利用が多く、島の玄関となる港にも緑地やターミナルなどが整備されている。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、それ以来、島の玄関口として利用されている。これまでに、防波堤、物揚場、船揚場のほか、定期高速船に対応した浮桟橋や旅客待合所等が整備された。



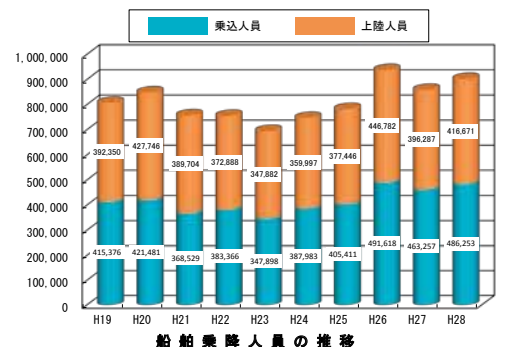
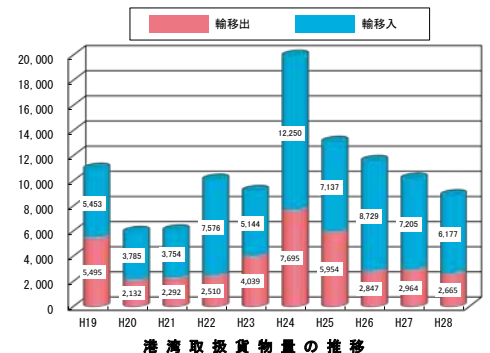
平成 28 年 10 月

**【定期航路】**

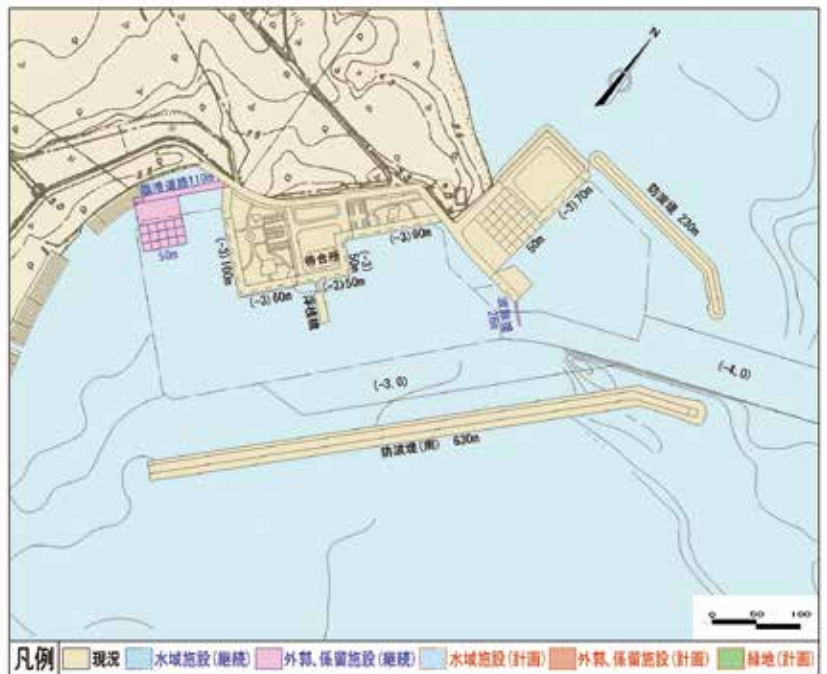
◇旅客船	◇貨客船
石垣/竹富 9~11便/日	石垣/竹富 2便/週
〔にいぬふあぶし他 96G/T〕	〔貨客船平成丸 43G/T〕
石垣/竹富 9便/日	〔ばいかじ 19G/T〕
〔第一あんえい号他 19G/T〕	〔フェリドリーム 19G/T〕
石垣/竹富 9便/日	
〔ドリーム1他 29G/T〕	



昭和 47 年 11 月







小浜港は、石垣島の西約18kmの小浜島(人口690人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の北東側に位置する地方港湾であり、石垣島との間に定期高速船が多数運航しているほか、定期フェリーや地元の小型船が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、物揚場、船揚場のほか、定期高速船に対応した浮桟橋や旅客待合所等が整備されてきた。現在、小型船の施設不足に対応するため、船揚場の整備が進められている。

**【定期航路】**

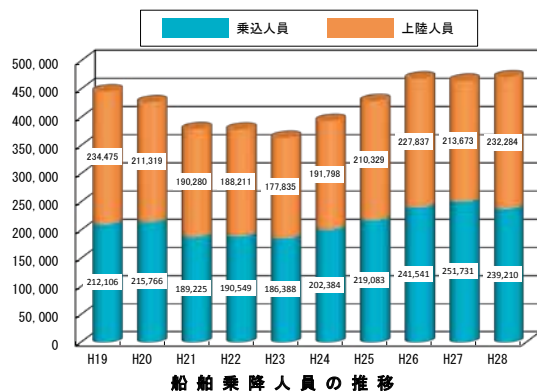
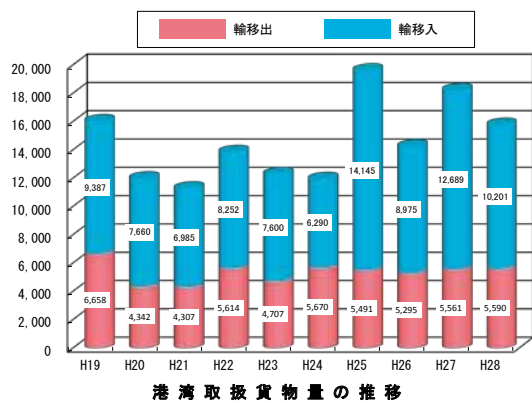
◇旅客船	◇貨客船
石垣/小浜 6便/日	石垣/小浜 3便/週
[ちゅらさん2他 83G/T]	[貨客船平成丸 43G/T]
石垣/小浜 5便/日	[ぱいかじ 19G/T]
[第一あんえい号他 19G/T]	石垣/小浜 4便/週
石垣/小浜 7便/日	[フェリードリーム 19G/T]
[ドリーム1他 29G/T]	



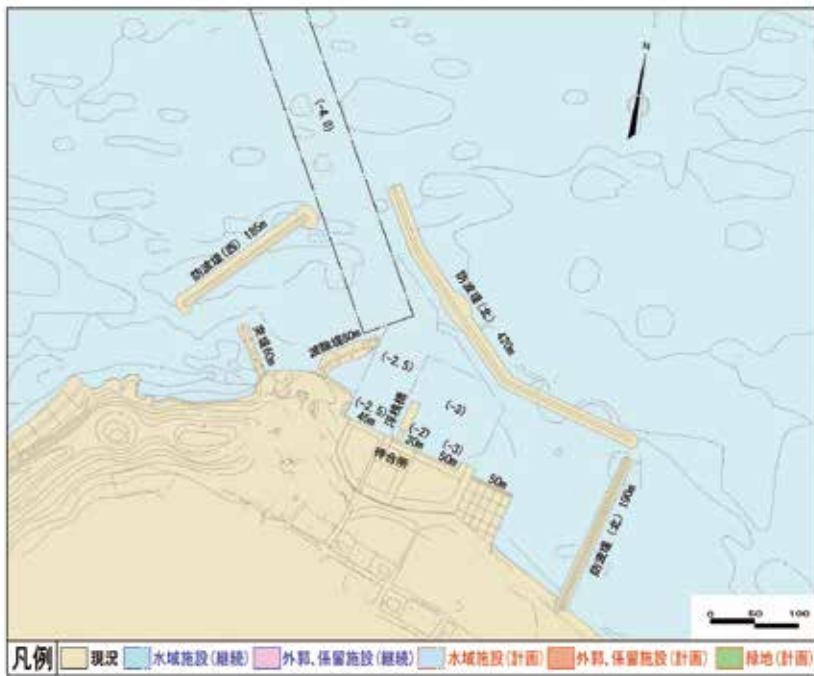
平成 18 年 11 月



昭和 47 年 11 月







平成 28 年 10 月



昭和 47 年 11 月

# 黒島港

## KUROSHIMA PORT

**位置図**

港 格	地方港湾
港湾管理者	沖縄県
所在地	竹富町(黒島)
面積	208ha
設立年月日	昭和47年5月15日

黒島港は、石垣島の南西方約20kmの黒島(人口216人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の北側に位置する地方港湾であり、石垣島との間に定期高速船が多数運航しているほか、定期フェリーや地元の小型船等が利用している。また、黒島周辺の海域がダイビングポイントとなっていることから、石垣本島から多くのタイピング船が休憩に訪れる。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、物揚場、船揚場のほか、定期高速船に対応した浮棧橋や旅客待合所等が整備されてきた。

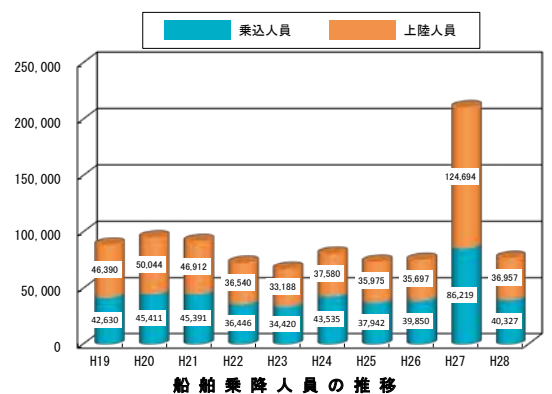
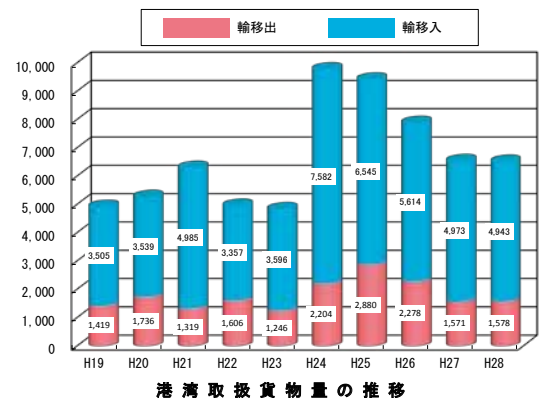
### 【定期航路】

#### ◇旅客船

石垣/黒島 3 便/日  
 [ちゅらさん他 19G/T]  
 [第一あんえい号他 19G/T]  
 [ドリーム 1 他 29G/T]

#### ◇貨客船

石垣/黒島 2 便/週  
 [貨客船平成丸 43G/T]  
 [ばいかじ 19G/T]  
 [フェルトリーム 19G/T]



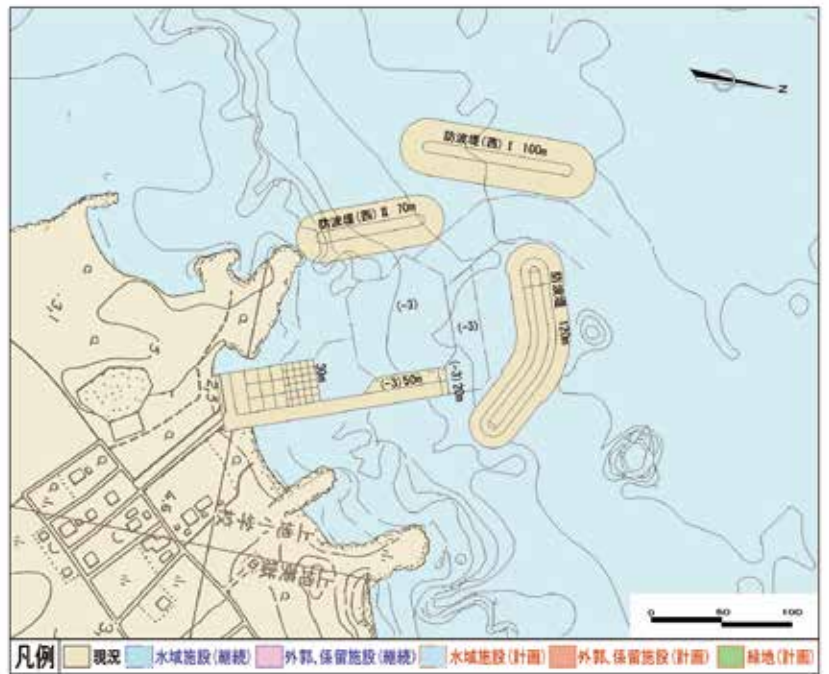




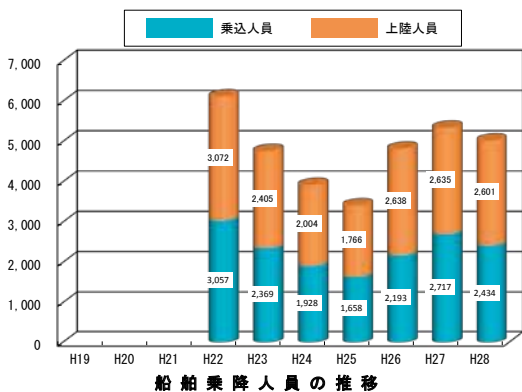
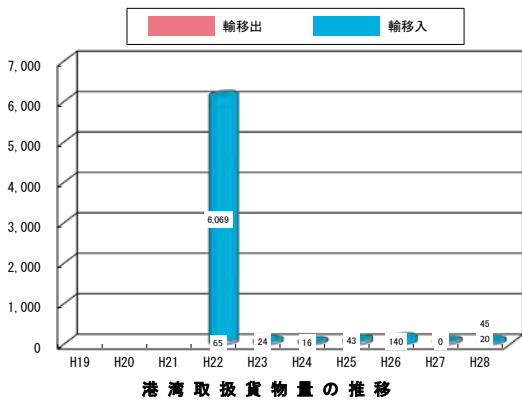
石垣島の南西約22kmの新城島(人口14人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)は、上地島と下地島の2つの島から構成されており、上地港は上地島の北西側に位置する地方港湾である。

現在は、不定期の高速船が就航しているほか地元の小型船や周辺海域で活動するダイビング船の休憩などに利用されている。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、物揚場、船揚場等が整備されてきた。今後、高速船の利便性向上を目的とした浮棧橋や、建設資材を輸送する作業船用の船首尾岸等が計画されている。



平成 24 年 2 月



昭和 47 年 11 月





平成 24 年 2 月



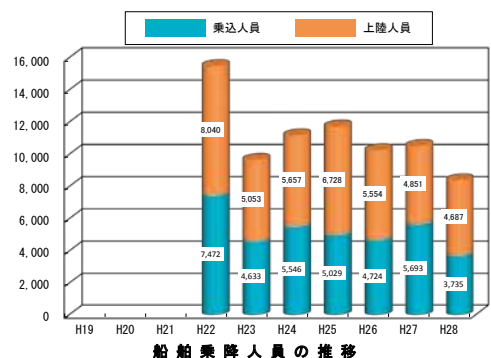
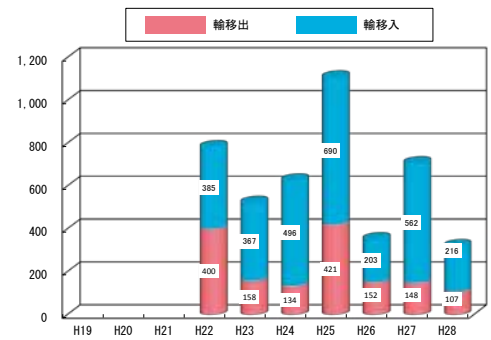
昭和 47 年 11 月

鳩間港は、西表島の北約5kmの鳩間島(人口41人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の南側に位置する地方港湾であり、石垣島との間に定期高速船が運航しているほか、定期フェリーや地元の小形船等が利用している。また、鳩間島の周辺海域にダイビングポイントがあることから、他の島から多くのダイビング船が休憩に訪れる。

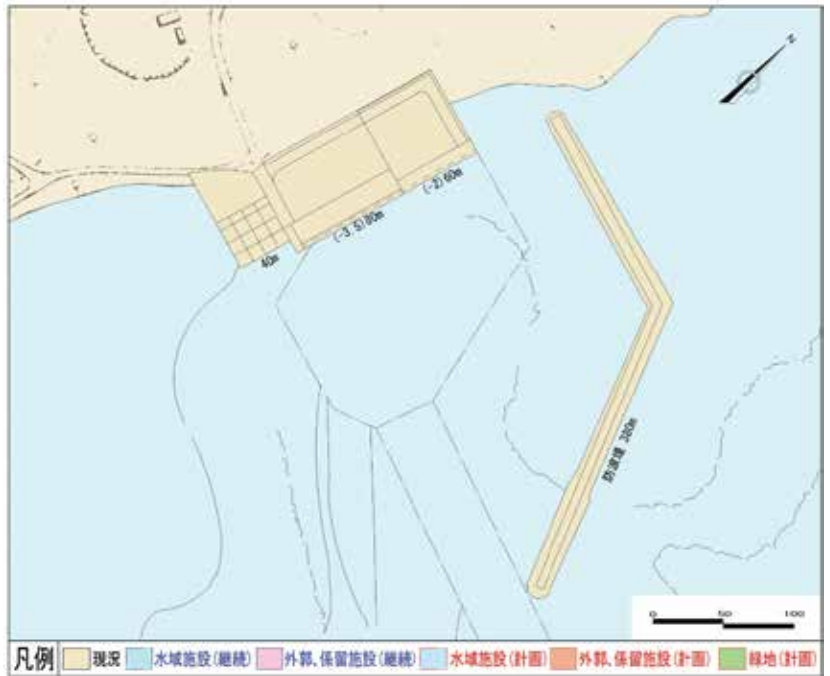
本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、昭和55年に港湾区域の変更が行われた。これまでに、防波堤、物揚場、船揚場、また定期高速船に対応した浮桟橋と旅客待合所等が整備されてきた。

### 【定期航路】

- ◇旅客船 石垣/鳩間/上原/石垣 2便/日  
〔にいぬふあじ他 96G/T〕  
石垣/鳩間/上原/石垣 1便/日  
〔第一あんえい号他 19G/T〕
- ◇フェリー 石垣/鳩間/上原/石垣 3便/週  
〔貨客船平成丸 43G/T〕  
〔ばいかじ 19G/T〕







船浦港(船浦地区)は、西表島(人口2,365人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の北側に位置し、船浦地区と上原地区がある。船浦地区には、定期船が就航しておらず、地元小型船や作業船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、物揚場、船揚場等が整備されてきた。

今後、南方からの波浪を防ぐための防波堤や遊漁船に対応した浮棧橋の整備等が検討される予定である。



平成18年11月



昭和47年11月

## 港湾関連用語解説

### ● フリートレードゾーン free trade zone (FTZ) 自由貿易地域

自由貿易地域又は特定保税地域と呼ばれる。一般的、統一的に明確な定義はないが、世界の各地域にあり、その地域の関税制度により、自由港(香港・シンガポール)、輸出自由地域(韓国・台湾等)、外国貿易地帯(米国)及び自由辺境地域という一般講学上で分類され、これらはそれぞれの国や地域経済に重要な役割を果たしている。わが国では、1987年12月9日に沖縄県那覇市の一部が「自由貿易地域那覇地区」として沖縄開発庁長官より指定を受けた。

沖縄特別自由貿易地域は、沖縄の産業振興を目的に国の指定に基づき設置されたもので、税制や関税面で手厚い優遇措置が適用されている特別の地域。諸外国では、産業振興施策のひとつとして、かなりの数の自由貿易地域が設置されているが、わが国では沖縄県の中城湾港新港地区にのみ設置(1999年3月31日)されている。





平成 28 年 10 月



昭和 56 年 3 月

# 船浦港(上原地区) FUNAURA PORT

**位置図**

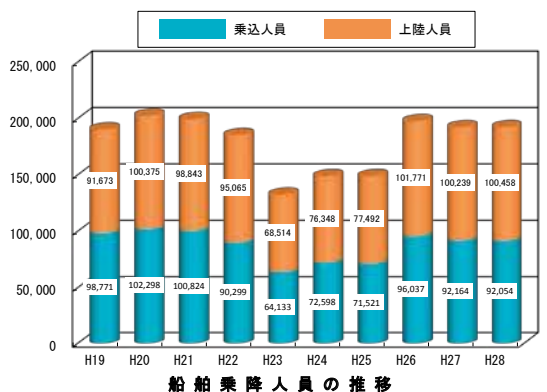
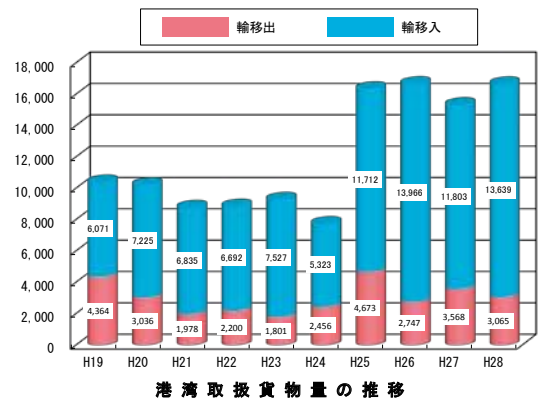
港 格：地方港湾  
 港湾管理者：沖縄県  
 所在地：竹富町(西表島)  
 面積：913ha  
 設立年月日：昭和47年5月15日

船浦港(上原地区)は、西表島の北側に位置する地方港湾であり、石垣島との間に定期高速船が多数運航しているほか、定期フェリーや地元の小型船等が利用している。

本港は、昭和 47 年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、物揚場、船揚場、また定期高速船に対応した浮棧橋と旅客待合所等が整備されてきた。

**【定期航路】**

◇旅客船	◇貨客船
石垣/上原 2 便/日	石垣/鳩間/上原/石垣 3 便/週
石垣/鳩間/上原/石垣 2 便/日	[貨客船平成丸 99G/T]
[サザンキング他 19G/T]	[ばいかに 19G/T]
石垣/上原 5 便/日	石垣/鳩間/上原/鳩間/石垣 3 便/週
石垣/鳩間/上原/石垣 1 便/日	[フェリードリーム 19G/T]
[第一あんえい号他 19G/T]	



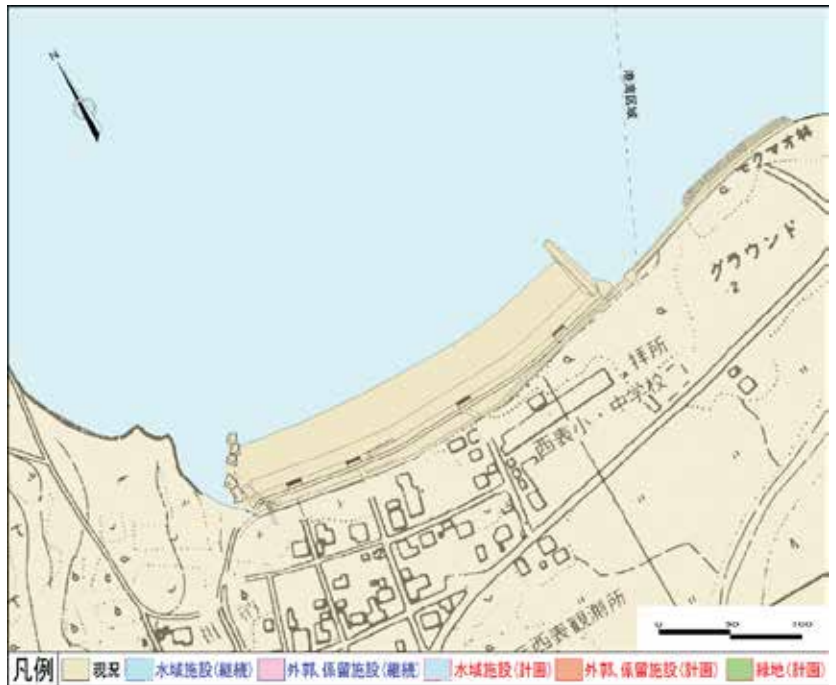


# 租納港(竹富町) SONAI PORT



港 格：地方港湾  
 港湾管理者：沖縄県  
 所在地：竹富町(西表島)  
 面積：32ha  
 設立年月日：昭和47年5月15日

租納港は、西表島西部にあり、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定されこれまでに、海岸施設が整備されている。



凡例 現況 水域施設(継続) 外郭係留施設(継続) 水域施設(計画) 外郭係留施設(計画) 緑地(計画)



平成 18 年 11 月



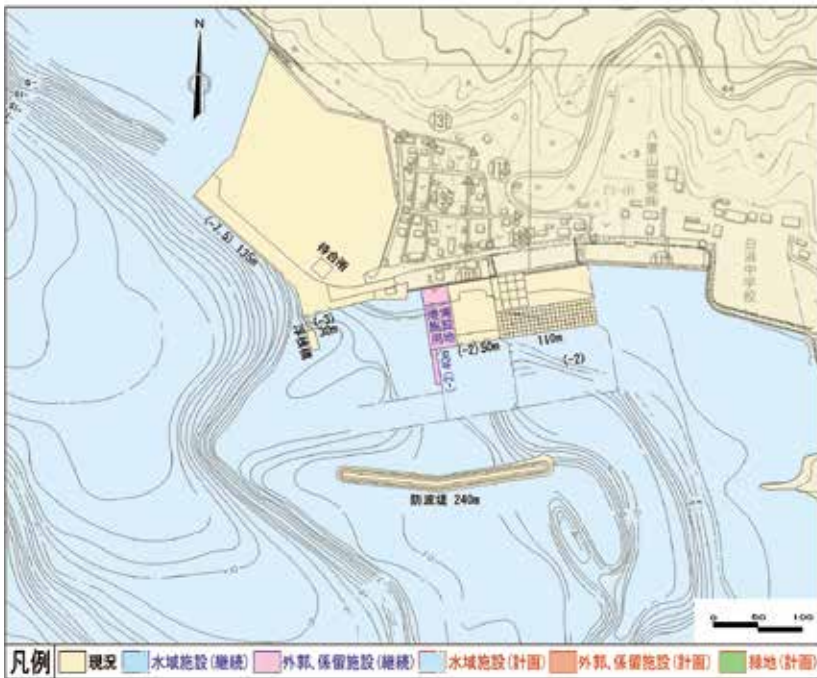
昭和 47 年 11 月

## 港湾関連用語解説

### ●輸入促進地域 foreign access zone (FAZ)

外国貿易港湾や国際空港及びその周辺地域に輸入品の荷捌き・保管施設展示場、情報センター、卸売り施設などの輸入インフラを集積する地域で、地域活性化の狙いも持つ。「輸入の促進及び対内投資事業の円滑化に関する臨時措置法」に基づいて地域指定される。第3セクター等が事業の中心となり、産業基盤整備基金によるこの第3セクター等への出資のほか、日本開発銀行を通じての融資等も行う。1992年度に初めて7地域が指定された。





白浜港は、西表島の西側に位置する地方港湾であり、西表島船浮港との間に定期船が就航しているほか、地元小型船や建設資材の積降を行う作業船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、平成元年に港湾区域の変更が行われた。これまでに、防波堤、-7.5m岸壁、-2.0m物揚場、船揚場、また定期船に対応した浮桟橋や待合所等が整備されてきた。

現在は係留施設の不足を補うため、船揚場の増設と-2.0m物揚場の増設の整備が進められている。

### 【定期航路】

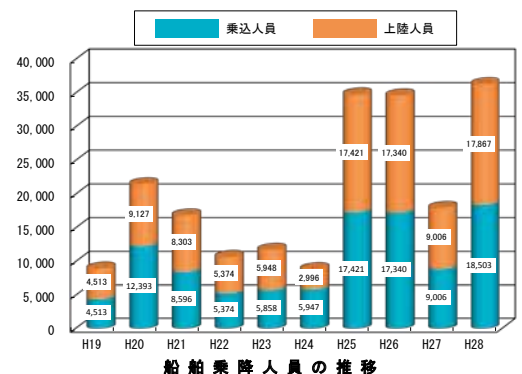
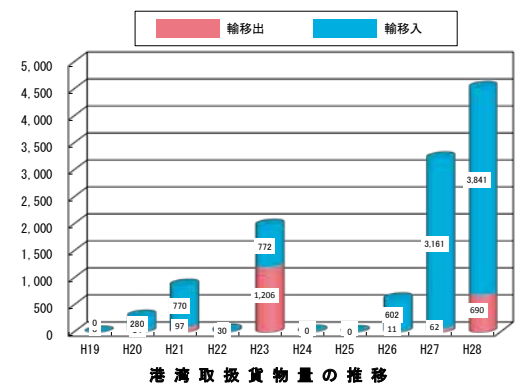
◇旅客船 船浮/白浜 5便/日(3月～11月)  
 4便/日(12月～2月)  
 [ニューふなうき 17G/T]



平成 24 年 2 月



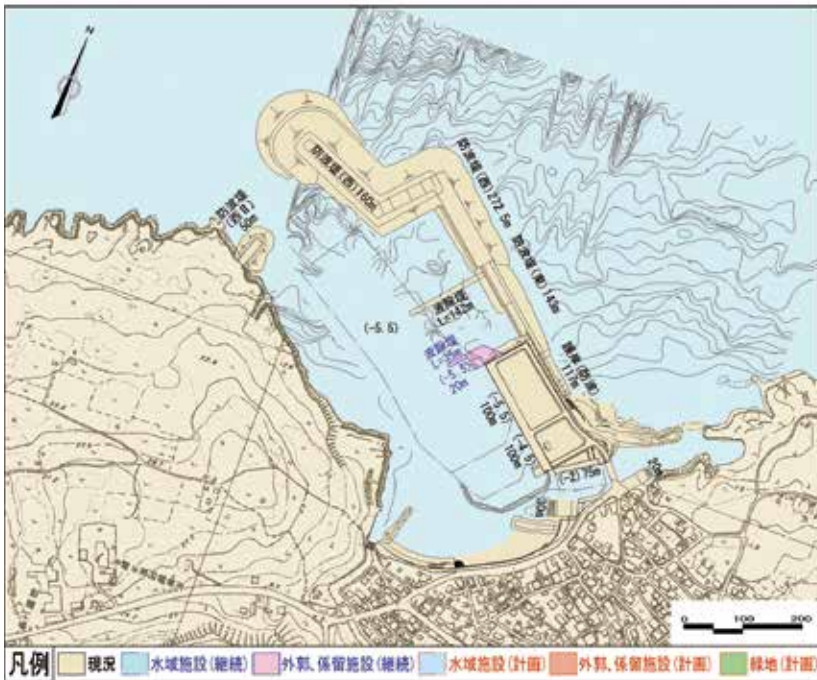
昭和 47 年 11 月











# 祖納港(与那国町) SONAI PORT

祖納港

与那国島

位置図

港	格：地方港湾
港湾管理者	沖縄県
所在地	与那国町(与那国島)
面積	89ha
設立年月日	昭和47年5月15日
港湾区域変更状況	昭和60年6月5日

祖納港(与那国町)は、石垣島の西約144kmにある日本最西端の与那国島(人口1,697人、島しょ別基本台帳人口平成29年1月1日現在)の北側に位置する地方港湾であり、定期フェリーや貨物船が波浪状況を見て利用しているほか、地元小型船が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、昭和60年に港湾区域の変更が行われた。これまでに、防波堤、-5.5m岸壁、-4.5m岸壁が整備されてきたが、波浪の影響を受けやすいため、現在は、静穏性を高めるための整備が進められている。



平成28年6月



昭和47年11月

【定期航路】  
◇フェリー 与那国/石垣 2便/週  
〔フェリーよなくに 753G/T〕

